



2017年6月30日
株式会社NTTデータ九州

SE常駐型 IDC「博多駅前データセンター」の供用開始について

株式会社NTTデータ九州(本社:福岡県福岡市博多区、代表取締役社長:岩元 宏樹、以下NTTデータ九州)は、2017年7月より、福岡市博多区にシステムエンジニアが常駐する都市型 IDC「博多駅前データセンター」の供用を開始します。

NTTデータ九州では、これまでも大規模共同システムや官公庁向けシステムのバックアップセンターの構築、運用実績を数多く有しておりますが、企業のBCP対策や基幹系システムのアウトソーシングニーズ、さらにはクラウドコンピューティング市場の活況を背景に、高まるデータセンター需要へ対応するため事業を拡大展開して参ります。

「博多駅前データセンター」には弊社のシステムエンジニアが常駐しており、従来のハウジングサービスに加え、ITIL^(※1)の有資格者による業務運用受託や改善提案、障害対応など幅広いサポートも可能です。

さらに弊社の専門スタッフによるアプリケーションの継続的な改善を実現するAMO^(※2)などの付加価値提案を通して、お客様のIT業務におけるマネジメントの最適化についてもご提案して参ります。

※1. Information Technology Infrastructure Library

※2. Application Management Outsourcing

NTTデータ九州は、九州地区最大規模の交通の要所である博多駅から徒歩数分の距離に、駅近接の都市型 IDCとして、2017年7月にデータセンターを供用開始致します。

弊社は既に NTT データグループの一員として大規模システムのバックアップセンターや災対センターなど、複数のデータセンター事業の構築ノウハウや運用実績を有しておりますが、そこで蓄積された経験値を基に、堅調に拡大するデータセンター市場に対応して参ります。

また、弊社データセンターは、過去に発生した水害や地震、2016年11月8日に発生した博多駅前陥没事故による大規模停電等の災害による大規模な停電等に対しても十分な機能を果たし、耐災害性を実証した数少ないデータセンターとして、高品質・高信頼のファシリティサービスをご提供致して参ります。

NTTデータグループの豊富なシステム構築実績を支えてきたシステムエンジニアや、お客様が抱えるITサービス運用における問題や課題に対してアドバイスが可能な ITIL 有資格者が常駐するデータセンターとなります。

また、ビル全体で3万㎡を超える大規模データセンター設備を有しており、さらにNTTビル間に設けられた専用の地下トンネル(洞道)を利用し断線リスクを極小化した、高信頼の通信インフラもご利用可能です。

特徴

- 冗長化された設備構成により優れた信頼性を確保し、ファシリティは現行の建築基準法の1.25倍以上の耐力で、極めて高い耐震性を保有(福岡県西方沖地震破損箇所なし)
- 24時間365日の警備やICカードゲートによる厳重なセキュリティ体制に加えて、センタ設計から保守運用まで全てNTTグループにて実施するなど、信頼性の高いサービスを提供いたします。
- 信頼性の高い3回線スポットネットワークを具備しており、並列冗長構成の無停電電源システムなど、電源供給の冗長化を図っています。
- 広域災害時における燃料不足を想定し、独自の燃料優先供給ルートを複数確保しており、また、NTTグループにおいては、グループ各社が連携した燃料供給体制を構築致しております。
- NTTデータ九州は長期に亘るデータセンターシステムの運用実績があり、過去の経験に基づく安全性の高い運用を提供いたします。

※ 商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社NTTデータ九州
経営企画部 新規事業推進室
土橋、山田
Tel:092-475-5106
idc@nttdata-kyushu.co.jp